

	該当ページ	意見の概要	市の考え方	原案修正の有無
1	2・6ページ	インバウンド需要を取り込んでいく方向性は示されているが、具体的な手法や進め方を明記してほしい。	インバウンドに向けた具体的な施策については、この基本計画ではなく、あわら市観光振興戦略において検討します。	無
2	4ページ	以下の項目について、方向性を本文に追記してほしい。 ・運営主体（DMO等）の明確化 ・年間運営費の想定 ・収益源（テナント、イベント等）の構成 ・補助金終了後の自走率（目標値）	具体的な方向性は、運営主体の方針や指標の調査方法・評価制度なども含めて設定する必要があるため、今後の観光まちづくり推進体制づくり（エリアマネジメント組織の組成）も見据えて、デザイン会議の中で検討します。	無
3	4ページ (10ページ)	『宿泊者が夜間に外出し、複数店舗を回遊する仕組み（ナイトコンテンツ、店舗連携等）を構築する』を追記してほしい。	10ページ「よるもうで」に夜間の回遊動線や回遊するための仕掛けづくりについて明記しています。 ご意見を踏まえまして、「よるもうで」の企画内容に、「旅館や飲食店、周辺施設等との連携コンテンツ」を追記します。（10ページの「よるもうで」の「来街者の楽しみ方」に追記）	有
4	4ページ	『行政主導による整備後の委託ではなく、初期段階から民間主体の運営体制（エリアマネジメント組織等）を構築し、役割分担を明確化する』を追記してほしい。	整備を見据えて、今後運営スキームと主体を決めるため、現段階では、明記していません。	無
5	4ページ	『地域住民の利用を前提とし、市民利用率・満足度を評価指標として設定する』を追記してほしい。	基本計画の中には明記せず、今後必要に応じて検討します。	無
6	6ページ	以下の行動変容設計を本文に追記してほしい。 ・ナイトコンテンツから宿泊への誘導施策 ・夕食後回遊から連泊への促進施策 ・日帰り来訪者から宿泊への転換施策	行動変容設計は、運営主体の方針や指標の調査方法・評価制度なども含めて設定する必要があるため、今後の観光まちづくり推進体制づくり（エリアマネジメント組織の組成）も見据えて、デザイン会議の中で検討します。	無
7	7～27ページ	基本計画は、インバウンドや国内観光客向けの再整備にも見える。実証実験では、訪問客の増加もあるようだが、温泉街にあるえちぜん鉄道との連携が資料からわかりにくい。えちぜん鉄道も巻き込んでプロモーションや集客を実施してほしい。	基本計画では、インバウンドや国内観光客のみではなく、地域住民や近辺で働く人なども立ち寄って、滞在できる温泉地を目指しています。この基本計画を策定する過程において、えちぜん鉄道も委員として参画しており、今後も一緒に広域連携の推進を図ります。	無
8	7～28ページ	本計画の施策効果を高めるため、想定する来訪者像（ペルソナ）および行動シナリオを本文に追記していただきたい。	来訪者像や行動シナリオの詳細は基本計画には明記せず、今後のデザイン会議の中で検討します。	無

9	9 ページ (27 ページ)	屋台村横の駐車場を移転するとなっているが、ロータリー側から来る車にも駐車場の位置がわかるように看板設置などを行ってほしい。	ご指摘を踏まえまして、エリア全体のサイン計画の重要性を考慮し、温泉街の整備と併せてサイン整備を進めていくことを追記します。(27 ページにサイン計画について追記)	有
10	12～16 ページ	今後の社会実験では以下の行動データを取得することを明記してほしい。 ① 宿泊者の夜間外出率 ② 回遊範囲・滞在時間 ③ 平日・休日・季節差 ④ リピーター率 ⑤ 外出しない理由	社会実験については、今後の実施も含めて基本計画には明記しません。行動データ等については、今後事業の中で考えていきます。	無
11	12～16 ページ	以下の観点を踏まえた改善設計を本文に追記してほしい。 ・事業者の収益構造(単価・客数) ・運営体制の最適化 ・継続可能なビジネスモデルの設計	具体的な改善設計は、運営主体の方針や指標の調査方法・評価制度なども含めて設定する必要があるため、今後の観光まちづくり推進体制づくり(エリアマネジメント組織の組成)も見据えて、デザイン会議の中で検討します。	無
12	20 ページ	本基本計画の「回遊性の向上」や「滞在価値の創出」という視点には強く賛同するが、計画全体を通じて、来訪者が実際に「滞在したくなる理由」や「夜間も含めた体験コンテンツ」の具体性がやや不足していると感じている。また、空間整備や景観向上だけでは、人の流れや滞在時間の延伸には限界があり、ソフト面での仕掛けが不可欠である。そこで、「滞在価値の向上」や「にぎわい創出」に直結するコンテンツとして「音楽」を提案する。本計画においては、ハード整備と一体となったソフト施策として、音楽演奏を中心としたにぎわい創出拠点(ステージ)の設置および活用方針を明確に位置付けていただきたく、強く要望する。	温泉街の賑わいづくりのコンテンツの1つとして、「音楽」を明記します。(20 ページ「あわら温泉湯のまち広場」の目指す姿・導入機能に追記)	有

13	19～23ページ (9・10ページ)	『広場単体でのにぎわい創出に依存せず、宿泊施設・飲食店・周辺施設と連動した回遊導線（特に夜間動線）を設計し、広場を起点とした回遊行動を促進する』を追記してほしい。	9ページ「エリアリノベーションまちづくり」に広場からまちなかへの回遊を高めていくために、まちなかの飲食店や旅館等の地先なども活用していく計画を明記しています。 10ページ「よるもうで」に夜間の回遊動線や回遊するための仕掛けづくりについて明記しています。 ご意見を踏まえまして、「よるもうで」の企画内容に、「旅館や飲食店、周辺施設等との連携コンテンツ」を追記します。(10ページの「よるもうで」の「来街者の楽しみ方」に追記)	有
14	19～23ページ (20ページ)	『雨天時や冬季においても滞在・回遊が可能となるよう、屋根付き動線、屋内滞在拠点、雨天対応型コンテンツを整備する。特に、主要動線に連続した屋根（アーケードまたは軒下活用）を整備する』を追記してほしい。	ご指摘を踏まえまして、「軒下」を明記いたします。一部屋根付き施設の整備について、整備費用も含めて検討します。(20ページ「必要な整備」に「軒下や」を追記)	有
15	30ページ	結果指標に加え、行動指標（中間KPI）を本文に追記してほしい。	行動指標は、運営主体の方針や指標の調査方法・評価制度なども含めて設定する必要があるため、今後の観光まちづくり推進体制づくり（エリアマネジメント組織の組成）も見据えて、デザイン会議の中で検討します。	無
16	30ページ	以下の前提条件および想定値を本文または別紙に追記してほしい。 ・宿泊者数増加の想定（例：年間+〇万人） ・観光消費額増加の想定（例：+〇%） ・投資回収年数（税込ベース）	1ページの経済波及効果に記載のとおりです。	無